

令和4年度 旭川地区の研究活動

研究法制部長 旭川市立東光小学校
校長 石ヶ森 孝 順

1 はじめに

旭川市小学校長会では、「次代を展望し 学校改善を 確かに実現する校長会」を大目標に掲げ、会員53名が、創意と活力に富み、信頼と秩序に基づく調和のとれた学校経営を推進してきた。

研究の推進に当たっては、4つの部と8つの地区校長会を組織の両輪として職能向上を目指すとともに、旭川市中学校長会及び上川管内校長会との連携により、組織力の強化を図ってきた。



◇第65回北海道小学校長会教育研究旭川大会◇

2 研究計画

(1) 基本方針

令和4年度の旭川市小学校長会の活動方針と重点を受け、また、前年度の活動の成果と課題を踏まえ、研修、文教、法規に関する研究活動と事業を推進する。

(2) 研究の方向性

【大目標】「次代を展望し 学校改善を 確かに実現する校長会」

(3) 研究の重点

- ① 生きる力を確実に育む創意と活力のある学校経営の推進
- ② 信頼と秩序に基づく調和のとれた学校経営の推進
- ③ 会員の協働意識を高める組織強化と福利厚生の実現

(4) 研究の方法

- ① 各部（学校経営部、研究法制部、調査広報部、組織厚生部）に会務を分掌する。
- ② 各地区校長会（中央、東部、南部、西部、北部、新永、神居、神楽）において、学校経営にかかわる情報の交流や人材育成に努め、各種課題について研究、協議する。
- ③ 各部、各地区校長会での業務や研究内容は、常任委員研修会や部長・地区会長合同研修会での検討を経たのち、全会員による校長会議・研修会で報告、協議する。

3 研究の概要

(1) 各地区校長会における研究・研修活動

月1回程度、定期的に地区ごとの研修会を開催し、各部の情報交流や今日的な教育課題、教育の質を高める学校経営などについて研究、協議を深めるとともに、各学校の経営上の課題解決に向けた具体的な取組について意見交換を行ってきた。

(2) 上川管内公立小・中学校長教育研究大会

- ① 主 催 上川管内校長会、旭川市小学校長会、旭川市中学校長会（主管）
- ② 期日・会場 令和4年8月3日（水）午後 Zoomミーティング

- ③ 講演 【講師】 北海道教育庁上川教育局長 岸本 亮 様
【演題】 「令和4年度上川管内教育の推進に向けて
～安心・安全、学力向上～」

- ④ 分科会 小学校4分科会、中学校2分科会において、研究主題・小主題について、提言を基に協議を行った。

(3) 旭川市小・中学校長法制研修会

- ① 主催 旭川市小学校長会、旭川市中学校長会（主管）
② 期日・会場 令和4年8月3日（水）午前 旭川市大雪クリスタルホール
③ 内容 会員の事前アンケートを参考に設定した3つの研修課題について、上川教育局及び旭川市教育委員会から説明をいただいた。

【研修課題1（学校運営関係）】

- ・ 退職年齢引き上げに関する情報と今後の対応について
 - ・ 免許更新制度廃止に伴う今後の動き（新たな研修制度、研修記録等）について
- 講師 北海道教育庁上川教育局企画総務課長 泉川 佳孝 様

【研修課題2（学習指導関係）】

- ・ GIGAスクール構想の進捗状況と実施上の課題（デジタル教科書、端末持ち帰りに関する現状と課題等）について
- 講師 北海道教育庁上川教育局教育支援課長 泉 大吾 様

【研修課題3（旭川市関係）】

- ・ 旭川市いじめ防止条例制定に係る進捗状況と今後の見通しについて
- 講師 旭川市教育委員会学校教育部長 品田 幸利 様

(4) 第65回北海道小学校長会教育研究旭川大会＜ハイブリッド開催＞

- ① 期日会場 令和4年9月9日（金）【全体会場】旭川トーヨーホテル
【分科会場】旭川トーヨーホテル及び各分科会場
- ② 開催方法 会同とZoom会議システムによるハイブリッド開催
- ・ 大会役員、大会実行委員、分科会運営者は、会同による参加
 - ・ 一般参加者は、Zoom会議システムによる参加
- ③ 内容 【全体会】「当面の諸課題」全国連合小学校長会長 大字 弘一郎 様
【分科会】11の分科会において、趣旨説明、研究発表を基に、全体協議及びグループ討議（Zoomブレイクアウトルーム）を行った。

(5) 研究紀要作成

会員の職能向上に資するよう研究の成果を集約し、旭川市小学校長会が発刊する「会誌」に掲載する研究紀要を作成した。

(6) 上川管内公立小・中学校長会研究主題第12次3か年計画

令和4年度から新たにスタートした上川管内公立小・中学校長会研究主題第12次3か年計画に基づき、学習指導要領や令和の日本型学校教育、感染症対策など、令和の時代における教育の動向を踏まえた研修を推進した。

4 おわりに

第65回北海道小学校長会教育研究旭川大会においては、「川のまち旭川から 子どもたちの笑顔と希望の架け橋となって 未来をともに創りだそう！」をキャッチフレーズとして、大会実行委員会の総力を結集し、大会の成果を発信することができた。

今後も、全道各地の校長先生とともに、未来社会に挑戦する子どもを育てる学校経営の中で、大会の成果を実践に生かしてまいりたい。